

旧パルコビル購入に議論が集中

都市経済常任委員会
3月8日(木)

3月8日(木)の都市経済常任委員会では、17議案が審議されました。長沼落着センターを地元自治会に譲与する件、市道の廃止・認定が8件、愛甲地区の住居表示が2件、市営住宅条例の一部改正、平成23年度予算(第10号)、及び24年度予算(一般会計、公共下水道事業)です。

日本共産党では栗山香代子議員がこの常任委員会に入っています。

(仮)あつき元気館って何?

特に時間をかけたのが、厚木パークビル(旧パルコビル)の件。

平成24年度の一般会計予算は総額736億円。市街地再開発事業費として、

- ①中町2-2地区周辺整備事業費
- ②本厚木駅南口市街地再開発事業費
- ③一番街周辺地区整備事業費
- ④本厚木駅西側整備事業費、の後に
- ⑤(仮称)

あつき元気館整備事業費として、9億8759万円。ほとんどが旧パルコビルを購入費です。予算の概要では、高齢者まで

「平成24年度厚木市一般会計予算所管科目」に対する附帯決議(案)

議案第33号平成24年度厚木市一般会計予算には、(仮称)あつき元気館整備事業が計上されている。

厚木パークビル(旧パルコビル)の取得については、本会議及び都市経済常任委員会において、財政難の中、民間ビルの取得は本来回避すべきことであることや中心市街地整備の全体像が明確でないことなどの意見があり、それらを踏まえ慎重に審議を行ったが、議会および市民に対し、その取得について明快な説明は十分に果たされているとは思えないものであった。

よって、(仮称)あつき元気館整備事業に当たっては、市政運営に多大なる影響を及ぼさないように、以下の各項目について早期の対応をされるよう強く求める。

- 1 厚木パークビルの活用にあたっては、中町2-2地区周辺整備事業との整合性を図り、中心市街地のより一層の活性化を図るため、市民、議会及び商店会等とも密に協議するとともに、多様な意見を探り入れるよう努めること。
- 2 改修費や維持管理費などを総点検し、経費の縮減等を行い、後年度において過度の財政的な負担とならないよう努めること。
- 3 今後の経済状況を十分勘案したうえで、他事業や市民生活に影響がないよう事業内容を慎重に検討すること。また、事業展開における進捗状況を議会及び市民にできる限り明らかにし、事業の執行に係る説明責任を果たすよう努めること。

以上、附帯決議とする

今週の活動から



放射線量計を置いて駅前で計測中に市民と対話。関心の高さを実感。(上: 線量計の説明をする栗山香代子議員)

3・11脱原発のパレードの出発前。議会に陳情を出した人々も参加していました。自作の「原発はいらない」の帽子をかぶって。(右: 釘丸久子議員)

3月の法律相談は
3月22日(木)14時~

事前の連絡をお願いします。
地区委員会 Tel(224)4341

あらゆる世代が交流できる、子育て文化振興及び市民協働などの拠点となる施設を整備し、心ときめく、味わいのあるあつきの新たな顔づくりを目的に「(仮称)あつき元気館」を整備します、と説明しています。

市民意識調査でも、最も市民の不滿が大きいのが「中心市街地の活性化」です。中心市街地にある大きな商業施設(旧パルコビル)が、4年間もフェンスに囲まれています。日本共産党厚木市議員団は、毎年市に出している予算要求の中で、「旧パルコを含む、空き店舗を公共の施設として活用できるように研究することを。固定資産税を減免し、利用したい市民が借りやすくすること」と求められています。

旧パルコビルが公共施設として利用されることには賛成です。しかし、今回出された予算では、まだどんなものをつくるのか、どんな施設を入れるのか、また、運営方法も全くわからないままの状態です。市側の答弁は、大きな夢を膨らませているようにも感じられ、事業として具体的な内容は示されず、取得ありきといったところです。

こんな大きな金額を動かさそうというのであれば、一定の検討を経たうえで、事前に議会に対しても何らかの話があってもいいのではないのでしょうか。

ただ、あのビルを、あの状態でずっと置いておくことや、好ましくない施設として民間使用がされるのは、厚木市にとっても良いこととは考えられません。

今後の事業に期待をしつつ、委員全員が賛同しての、付帯決議を出しました。

日本共産党議員は、平成24年度の一般会計予算には反対しましたが、付帯決議には賛成しました。